



ザンビアの経済概況・月報(2014年12月)

主なマクロ経済指標	2013年	2014年
1. 人口 (百万人)	14.5 (予想)	14.9 (予想)
2. 人口増加率 (%)	2.8(2000-2010)	2.8(2000-2010)
3. 失業率 (%)	7.8(2012)	7.8(2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	24,746(予想)	25,981(予想)
7. GDP成長率 (%)	6.7	7.0(予想)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1(2012)	1,358*1(2012)
9. インフレ率 (%)	7.1(Dec)	7.9 (Dec)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	131.26	145.74 (Dec)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	423	8.49*2(Nov)
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-80.31*4	-3.63*3(Nov)
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	10,608	833.73*2(Nov)
14. 対日輸出 (百万米ドル)	53.02*4	3.93*3(Nov)
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	10,185	825.24*2(Nov)
16. 対日輸入 (百万米ドル)	133.33*4	7.56*3(Nov)
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,077	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	177 (2012)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,066 (2012)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,852 (2013末)	2,673(Feb)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	3,500 (2013末)	4,700(Sep)
22. 為替レート (対米ドル)	5.39ZMW*5	6.34ZMW (Dec)*5
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.52	12.5 (Dec)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1	購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*2	1USD=6.35ZMW (2014年11月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3	1USD=107円(2014年11月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2'	<2014年2月>
*3'	主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/金(半製品)
	主要貿易相手国(輸出): スイス 41.4%, 中国 18.2%, 南アフリカ 9.5%, シンガポール 7.5%, コンゴ(民) 6.5%, その他 16.9%
	主要輸入品目: 建造物部品・パーツ/高速道路用の騒音装置/軽油/内燃機関用燃料/瀝青/天然アスファルト・瀝青岩
*4	主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 32.0%, コンゴ(民) 16.3%, 中国 9.2%, ケニア 8.3%, インド 3.3%, その他 30.7%
	*5
*5	2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨)=1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典>	
1.-2., 5.-7.: Country Report 2013 (EIU), The World Factbook (CIA)/3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security)/4.: Census 2010 /8.: UNDP Human Development Report /9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO)/12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 /17., 20.-21.: The World Factbook (CIA)/18.-19.: UNCTAD/22.-23.: Bank of Zambia	

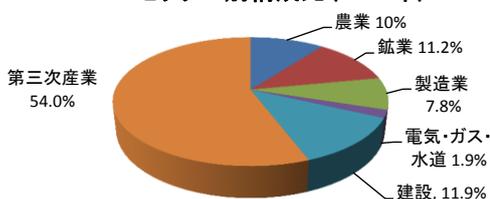
<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax): 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT): 16%。
- 採掘権料(Mineral Royalty): 6%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成比(2013年)



(出典: ザンビア中央統計局(CSO)データから当館作成)

主要な経済ニュース(12月)

1. “ザンビア、食糧安全保障国に選出”(5日, Daily Mail)

ザンビアは、COMESA加盟国の中で最も農村部の食糧安全保障及び生計の発展に貢献している主要内陸国8か国の中へ選出された。東南部アフリカ・コモディティ通商機構(ACTESA)によると、他の内陸7か国は、ブルンジ、マラウイ、ジンバブエ、エチオピア、スワジランド、ルワンダ、ウガンダである。

2. “ザンビア中央銀行、公債の操作規制を改定”(10日, Daily Mail)

ザンビア中央銀行(BoZ)は、投資家が商業銀行を介して入札することを認めるべく、証券集中保管機関(GSD)制度の第2期履行期間に、公債の操作に関する規制を改定した。

3. “ザンビア開発庁「石炭が主要な電力源になり得る」”(10日, Daily Mail)

ザンビア開発庁(ZDA)は、アフリカ域内で現在電力が不足していることを受け、石炭採掘に、主要な電力源となるポテンシャルが存在する旨明らかにした。ZDA発表の最新版『ザンビア・エネルギーセクタープロフィール』によると、ザンビアのエネルギーセクターは、同セクターを最大化する戦略が策定されれば、主要な電力輸出国になるポテンシャルを有することが明らかになった。

4. “ザンビアの経済成長は安定的”(11日, Times)

ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、最新の年間報告書(“Credit Analysis Report”)内で、ザンビアの好調な経済成長ならびに同国政府の財政基盤の強さにより、ザンビアの「B1(安定的)」という格付けが維持される旨発表した。しかし、同社は、経済規模の小ささ及び経済多角化が難航していることを指摘した上で、同国は、農業セクターの不調や銅の国際価格の不安定性に脆弱であると言及した。

5. “ザンビア政府、電子統計データポータルを創設”(11日, Daily Mail)

ザンビア政府は、政策立案者や一般の人々が政府統計機関発表の経済指標へ容易にアクセスすることが出来るよう、電子統計データポータルを創設した。

6. “世銀「ザンビア経済は改善しつつある」”(12日, Times)

カディレサン世銀ザンビア代表は、ザンビアの財政状況は改善しつつある一方で、来たる大統領補欠選挙によるリスクが存在する旨発言した。

7. “FDI流入額が増加”(12日, Daily Mail)

ゴンドウエ・ザンビア中央銀行(BoZ)総裁は、昨今の調査により、2013年の対ザンビア海外直接投資(FDI)流入額は、2012年比21.3%増の21億米ドルとなった旨発言した。同総裁は、その増額は、鉱業及び製造業に対する投資によってけん引されている旨発言した。

8. “ザンビア政府、ヨハネスブルク株式市場における穀物取引を許可する政令(政令第59号)に署名”(19日, Post)

ザンビア政府は、ザンビアの穀物をヨハネスブルク株式市場にて取り引きするための道筋となる政令に署名した。シムウサ農業畜産大臣は2014年11月に政令第59号に署名し、農産物取引社(ZAMAC)に対し、倉庫証券制度の監督権限を与えた。

9. “ザンビアにおいて格付け機関が設立”(19日, Daily Mail)

投資家の信頼を促進すべく、ザンビア初の格付け会社が設立された。Credit Rating Agency (GRA)社は、南アフリカ、ナイジェリア、セネガルに続き、アフリカで4番目に設立された格付け機関となった。

10. “ザンビアのポテンシャルは高い”(20日, Daily Mail)

IMFは、ザンビアの経済成長のポテンシャルは引き続き高い一方で、国内外のリスクにより中期的な経済見通しは暗い旨明らかにした。また、IMFは、来月20日実施の大統領補欠選挙後に、ザンビア政府と協議する旨明らかにした。